

ひみこちゃんが
「大和さくらい100選」
一度は行ってみたいスポットを紹介 - その32 -

今回は、「大和さくらい100選」の「ビューポイント」「食・伝統・芸能・体験」に選ばれている高家地区周辺を紹介するよ！

たいえ
高家からの眺望

高家区は桜井市南部の丘陵地にある集落です。北の方角に目を向けると、眼下には奈良盆地が広がり、箸墓古墳や三輪山の丘陵などを望むことができます。その眺望は、「箸墓・三輪山へと続くパノラマ」として、大和さくらい100選のビューポイントにも選ばれています。夜景も素晴らしく、市外からも見物客が訪れる夜景スポットにもなっています。

また、平成27年9月にオープンした「オーベルジュ・ド・ぷれざんす桜井」も高家にあります。ここには宿泊できる部屋が9室あり、素晴らしい眺望を楽しみながら、本格的なフランス料理を味わうことができます。



網を作っている様子



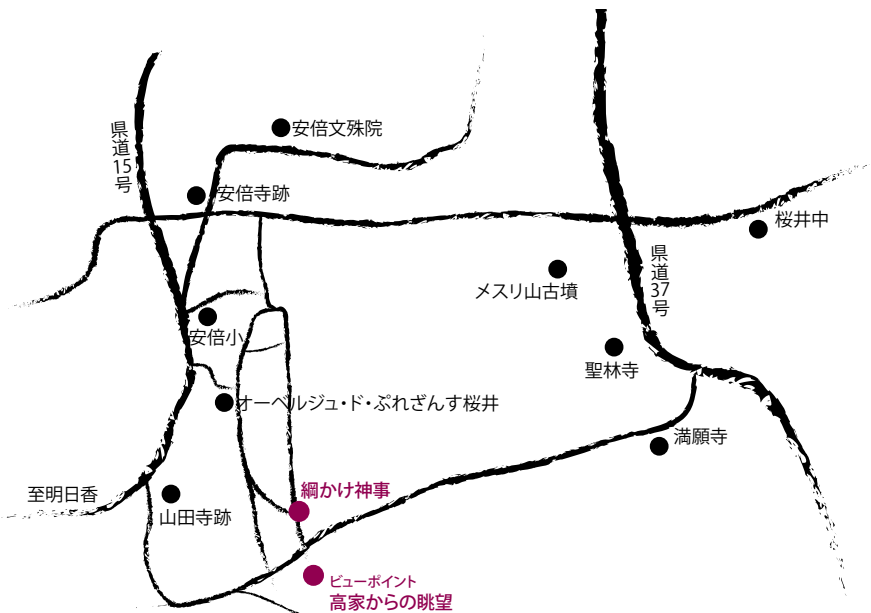
神事の様子

伝統行事 下高家の綱かけ神事

高家区の下垣内では、毎年1月の第2日曜日に綱かけ神事を行っています。13軒が新藁わらを12束（うるう年は13束）ずつ当家（その年の当番の家）に持ち寄って、綱を作ります。綱は雄綱で、その長さは人が手を広げた長さ24人分（約30m）です。長老は、補助綱を作ります。

綱ができあがると、左巻きに巻き、恵方の方向に置いて祭壇を組みます。その祭壇の前に当家の人が座り、般若心経で当家の厄を払った後、川を挟んだ木々に綱を掛けに行きます。

その後、夏ごろに自然に落ちるまで、綱はくくりつけられたままです。しかし、綱が落ちるまでの間に、高家の下垣内で不幸事があると、そのときは綱を真ん中から切り落とすそうです。



「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課

(☎ 42 - 9111 内線 342)

twitter @himiko_chan